

技能実習生
47都道府県プロフィール（Ⅱ）

宮崎県

外国人の水際対策に最大12万円：宮崎県

2021/9/17

宮崎県と宮崎県中小企業団体中央会は、県内で雇用される外国人技能実習生・特定技能外国人の入出国に際して、新型コロナウイルス感染症の水際対策として受入事業者が負担した宿泊費用などを補助する「宮崎県外国人技能実習生等受入事業者支援事業」の公募を始めた。補助率は3分の2以内、補助上限額は外国人1人につき入国時は12万円、出国時は2万円。申請期間は10月15日まで。

補助対象者は、外国人技能実習生などを受け入れた県内企業、または県内企業で雇用される外国人技能実習生を受け入れた監理団体（監理団体は特定技能外国人の申請はできない）。

補助対象経費は、入国時が宿泊費（上限15泊分）、レンタカー借上料、有料道路通行料金、燃料費（定額）、出国時はPCR検査費、陰性証明書発行費。

<https://j-net21.smrj.go.jp/news/tsdlje000000zjw4.html>

宮崎・青島「ボンデリス」にベトナム料理の弁当 現地の技能実習生が発案

2021/11/18

スーパーマーケット「鮮度館Bon Delice（ボンデリス）」が現在、ベトナム料理の弁当や総菜を販売している。運営は「スーパーえびはら」。約5年前から、ベトナムの技能実習生の受け入れを始めた同店。現在はパンコーナーで2人、総菜コーナーで3人の実習生が働いている。現在販売しているベトナム料理の商品は、実習生が発案によるもので、7月から販売を始めた。

店内では、現地の朝食でよく食べられるという麺料理「ベトナムフォー」などをはじめ、少しずつメニューを増やしてきた。

店の惣菜作りを担当しながらビジネスを学び、将来は母国でレストランを開きたいなど、さまざまな夢をもつ3人は「ベトナム料理を宮崎でも食べてもらいたい」と、伝統的な料理だけでなく、日本の味を採用したオリジナルの創作料理も提供している。



（左から）総菜スタッフのズオン・ティ・ハオさん、グエン・フォン・アインさん、湯地志津子さん、チャン・ティー・リーさん

<https://miyazaki.keizai.biz/headline/1156/>

「とにかくやる気がすごかった」外国人技能実習生として来日 中国人女性が介護福祉士に合格

2022/05/26

全国初の介護職種の外国人技能実習生として2018年に来日し、現在、延岡市で働いている中国人女性に注目します。簡雪梅さん、このほど、介護福祉士の国家試験に合格しました。仕事に勉強にと日々奮闘する簡さんに今後の目標を聞きました。高齢者と一緒に歌を歌っているのは、中国、江西省出身の簡雪梅さん（51歳）。

ここで、認知症の入居者を担当しています。父親が脳梗塞で倒れたことをきっかけに介護の道へ入った簡さん。

「介護の技術を高めたい」と2018年に介護職種の外国人技能実習生「第1号」として来日し、この施設などを運営する**メープルウェルフェアサービスに入社**しました。特に日本語の習得が高い壁となりましたが、おとしには日本語能力試験で上から2番目のレベル、「N2」に合格しました。



介護施設に外国人実習生 笑顔で頑張る3人に期待 延岡 / 宮崎

2022/06/16

延岡市の介護施設で、今春来日したインドネシア人女性3人が技能実習生として働き始めた。新型コロナウイルス対策の入国制限で来日が延び延びとなり、人手不足の施設が待ち望んでいた初の外国人実習生。施設関係者は、異国の地で笑顔を絶やさず頑張る3人の活躍に期待を寄せる。

技能実習生の3人は、アッザーラ・サニオシ・フェガさん（20）とフェピ・プラメイスティさん（20）、ジョアニナ・アマラルさん（21）。3月下旬に来日し、福岡県で日本の生活ルールなどを学んだ後、4月下旬から同市中島町にある介護老人保健施設「のべおか老健あたご」での実習に入った。



介護施設の技能実習生として働き始めた（左から）アッザーラさん、フェピさん、ジョアニナさん

技能実習生11人が修了 外国人技能実習生修了式

2022/07/08

J A 都城と外国人技能実習生受入生産者連絡会は6月中旬、J A 管内の3つの農業法人で3年間の技能実習を受けていたインドネシア技能実習生4期生11人の修了式をJ A 都北事業所で開いた。実習生や関係者ら24人が出席しました。

同連絡会の中原順朗会長が「実習を経てたくましく成長できていると感じる。日本で学んだことを今後に活かして頑張ってもらいたい」と挨拶し、感謝状と記念品を贈呈。実習生一人ひとりが実習期間中の思い出や感謝の思いなどを綴った作文を流暢な日本語で発表しました。実習を修了した技能実習生の内、5人は帰国、残りの6人は3号生として、実習期間を延長し、引き続き、農業技術や知識の習得に励む。帰国する実習生には、母国の農業発展に貢献することが期待される。



3年間の実習を終了した修了生と関係者（集合写真）

宮崎県、外国人介護人材の就労・定着促進を図る 日本語研修を開催

2022/07/11

外国人材同士がコミュニケーションを図り、孤独感を解消

宮崎県が、外国人介護人材の就労・定着促進を図る日本語研修を開催すると、6月24日に発表しました。

同研修は宮崎県が公共社団法人 **国際厚生事業団への委託事業**として実施。介護技能向上および日常生活で必要となる日本語などに関する研修を行い、外国人介護人材の就労・定着促進を図るほか、外国人材同士がコミュニケーションを図れる集合研修とし、仕事の悩みや孤独感の解消につなげることを目的に実施されます。

在留資格の有無は問わず、宮崎県内で就労している外国人介護職員は誰でも受講が可能です。



県内に住むベトナムの人たちが高校生チームなどとサッカー交流

2022/07/31

県内に住むベトナム人たちと、宮崎市内の高校生や青年会議所のメンバーが31日、サッカーの大会を通じて交流を深めました。

宮崎市で行われた大会には、県ベトナム協会のサッカーチームのほか、宮崎日大高校のサッカー部と宮崎青年会議所の同好会のメンバー、あわせておよそ50人が参加しました。

県内に在留する外国人のうち、ベトナム人はおよそ2600人と最も多く、**県ベトナム人協会では、地元のアマチュアチームとも試合を行う**などして交流の場としているということです。

